

## 5) 脳梗塞のICD-10別患者数 【2016年度】

2016年度<2016年4月1日～2017年3月31日退院患者>

ICD-10	傷病名	発症日から	症例数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	3日以内	22	7.23	77.32	4.55%
		その他	—	—	—	—
I63\$	脳梗塞	3日以内	148	47.75	78.12	3.38%
		その他	22	64.41	73.86	9.09%

### <集計方法と定義>

- ◆対象患者は一般病棟に1回以上入院した、医科レセプトのみの患者です。
- ◆入院後24時間以内に死亡した患者さんは対象外です。
- ◆発症日から「3日以内」「その他」に分けて数値を記載しています。
- ◆症例数が10未満の数値の場合は、—(ハイフン)で表示しています。
- ◆最も医療資源を投入した傷病のICD10コード(G45\$, G46\$, I63\$, I65\$, I66\$, I675, I679)別に集計しています。

### <解説>

脳梗塞の病型別の患者数、平均在院日数、平均年齢、転院率を示しています。

脳卒中などは迅速な対応が求められることが多く、救急患者の受け入れも可能な限り行っており、発症後4.5時間以内の超急性期脳梗塞に対しては、積極的に血栓溶解療法(t-PA静注療法)を行っています。

急性期治療終了後には、回復期リハビリテーション病棟へ移り、365日提供による積極的なリハビリテーションで、在宅環境に合わせた訓練を行い、在宅復帰を目指しています。また、退院後も必要に応じ、訪問リハビリテーションによる継続的なフォローを実施しています。

その他、他施設にて急性期治療を終了し、回復期リハビリテーションが必要な患者さんも積極的に受入れています。